



2017年6月7日

各 位

会社名 Oak キャピタル株式会社
代表者名 代表取締役会長兼CEO 竹井 博康
(コード番号 3113 東証第二部)
問合せ先 執行役員 IR・PR 室長 小玉 誠一
(TEL. 03-5412-7700)

当社投資先企業である株式会社ピクセラ (東証2部 6731) の事業進捗に関するお知らせ

当社が成長支援を目的に、2回に渡り総額34億円のエクイティファイナンス引受を実施した、株式会社ピクセラ(以下ピクセラ社)の成長戦略の一つである次世代テレビ事業についての進捗をお知らせいたします。

記

既存ビジネスと新規ビジネスを融合させた新商品開発を推進

ピクセラ社の成長戦略の一つである次世代テレビ事業は、4K放送対応STBの開発・販売に向けて順調に進捗しており、特に並行して推進している新規事業における成果であるホームIoT機能、AR/VR機能、AI・ビッグデータ機能を組み合わせることで、同社はイノベティブで魅力的な次世代テレビ事業の展開に向けて好位置につけています。

ピクセラ社の次世代4K放送対応STBは4K放送の受信に加え、Webブラウジングや動画、映画、Youtubeの4Kコンテンツなどのストリーミング視聴、マルチプレイヤーゲーム、音声検索など、モバイル機器で使える多くの機能と、従来のテレビで慣れ親しまれた操作感を備えた新しい機能を搭載しており、これらピクセラ社の開発力は米国Google社にも評価され、2017年5月17日に米国で開催されたGoogle社主催の開発者向けの権威あるイベントであるGoogle I/O (Google Innovation in the Open)において、Google社が展開する新しいテレビ事業において、世界的に著名なLG社やHuawei社と並んで、ピクセラ社はGoogleパートナー10社のうちの1社として紹介されております。

当社といたしましては、Google社が展開する次世代テレビ事業において、ピクセラ社がリーディング・プレイヤーになれるよう引き続き同社を支援してまいります。

※STB (セットトップボックス)

テレビ受像機に接続使用する電子機器の一つで、地上デジタル放送、衛星放送、ケーブルテレビ放送、ブロードバンドVODなどの放送信号を受信し、映像をテレビに送信したり関連するサービスや機能を利用可能とする機器。

- コーポレートサイト -

ピクセラ社 <http://www.pixela.co.jp/>

以 上